



NHK 詳細分析

2026-05-03_radio_news_0600

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 12:57

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

分析バージョン: 2.7-detail

方法論的原則: K5+K13 (介入事象の記録義務)

作成日: 2025年5月3日

連立政権: 自由民主党 (LDP) + 公明党 (Komeito)。2012年以降継続 (2009~2012年の民主党政権期を除く)。
2024年10月27日の衆院選でLDPは191議席に後退し、単独過半数を失った。

主要野党: 立憲民主党 (CDP、148議席)、日本維新の会 (Ishin、38議席)、国民民主党 (DPP、28議席)、公明党 (24議席)、れいわ新選組 (9議席)、日本共産党 (JCP、8議席)。

政党	左右スコア (0~10)	議席数 (衆院 2024)	政権/野党	憲法改正に関する核心的立場
日本共産党 (JCP)	1.5	8	野党	第9条改正に断固反対、護憲
社民党 (SDP)	2.5	1	野党	護憲、平和主義堅持
れいわ新選組	2.5	9	野党	改憲反対、反軍備拡張
立憲民主党 (CDP)	3.5	148	野党	拙速な改憲に反対、立憲主義堅持
公明党	5.0	24	連立与党	三原則堅持、慎重な改憲論
国民民主党 (DPP)	5.5	28	中間 (閣外協力)	審査会での積み上げ重視、現実的改憲
自由民主	7.0	191	与党	自衛隊明記・緊急事態条項・早期改憲

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

党 (LDP)				
日本維新の会 (Ishin)	7.0	38	野党 (改憲賛成)	第9条改正・緊急事態条項を喫緊課題と位置づけ
参政党	9.0	3	野党	憲法全面改正 (創憲) の立場

憲法改正をめぐる最大の対立軸は、自衛隊の憲法明記・緊急事態条項の創設を推進する改憲勢力 (LDP・Ishin・DPP) と、拙速な改憲に反対する護憲・慎重勢力 (CDP・JCP・れいわ・SDP) の間に存在する。2024年衆院選でLDPが過半数を失ったことにより、改憲発議に必要な3分の2の確保が困難となり、改憲論議の行方は不透明である。安全保障環境の変化 (北朝鮮・中国・ロシア) を根拠とする改憲加速論と、立憲主義・平和主義の観点からの慎重論が鋭く対立している。

NHKは放送法に基づく公共放送であり、経営委員会の12名は内閣総理大臣が任命する (国会同意人事)。安倍政権期 (2012~2020年) 以降、NHKの政権への距離感について批判的な指摘が継続しており、RSF報道自由度ランキングでは日本は70位 (2024年) にとどまる。放送法第4条は政治的公平・報道の正確性・多角的論点の提示を義務づけており、本分析はこの規定を基準として実施する。

- ・タイトル: 憲法記念日特集 (各党声明・談話の紹介)
- ・日付 (ファイル名より推定): 2025年5月3日 (憲法記念日)
- ・推定尺: 約2分30秒~3分 (実質的なコンテンツ部分) ※後述の繰り返しセグメントを除く
- ・司会者・リポーター: トランスクリプト上、ナレーターによる読み上げ形式 (個人名の特定不可)
- ・登場人物: 各党の声明・談話を間接引用する形式。個人インタビューなし

人物・主体	機能	政党・所属	政治的スペクトル
自由民主党	声明発表主体	LDP (与党)	右派 (7.0)
日本維新の会	声明発表主体	Ishin (野党・改憲賛成)	右派 (7.0)
国民民主党	声明発表主体	DPP (中間)	中道右派 (5.5)
中道改革連合	声明発表主体	不明 (トランスクリプト上の表記)	不明
立憲民主党	声明発表主体	CDP (野党)	中道左派 (3.5)
賛成党	声明発表主体	不明 (トランスクリプト上の表記)	不明
公明党	声明発表主体	Komeito (与党)	中道 (5.0)

注記: トランスクリプトの00:01:50以降、「立憲民主党は、憲法を一から作り直す理念を作る。」という文が約13分間にわたって繰り返されている。これはトランスクリプト生成上の技術的エラー (ループ・ハルシネーション) と判断される。また「賛成党」「中道改革連合」はトランスクリプト上の表記であり、実在政党との対応関係が不明確である (後者は「社民党」または他党の誤認識の可能性がある)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

憲法施行79周年（憲法記念日）にあたり、各政党が発表した憲法改正に関する声明・談話をNHKが紹介する短報形式の放送。

日本国憲法は1947年5月3日に施行され、2025年で施行79年を迎えた。改憲論議は特に第9条（戦争放棄・戦力不保持）と緊急事態条項の創設をめぐって長年続いており、安倍政権期に改憲機運が高まったが、2024年衆院選でのLDP敗北により改憲発議に必要な3分の2の確保が困難となっている。北朝鮮の核・ミサイル開発、中国の軍事的台頭、ロシアのウクライナ侵攻を背景に、安全保障環境の変化を根拠とする改憲加速論が与党・Ishinから提起される一方、立憲主義の観点から拙速な改憲を警戒する声も根強い。憲法改正には国会の3分の2以上の賛成による発議と国民投票での過半数が必要であり、手続き的ハードルも高い。

- * 改憲推進派（LDP・Ishin）の具体的な改正案内容と根拠
- * 護憲・改憲慎重派（CDP・JCP・れいわ・SDP）の反対論拠
- * 公明党の「加憲」論（三原則堅持を前提とした慎重な改憲論）
- * 国民世論の現状（改憲賛否の世論調査データ）
- * 憲法学者・法律専門家の見解（改憲の合憲性・手続き論）
- * 市民社会・護憲運動の声
- * 国際比較（他国の憲法改正事例・平和主義条項の意義）
- * 緊急事態条項の具体的内容と権力濫用リスクの議論
- * 自衛隊明記の法的・実質的意味（現行解釈との差異）
- * 改憲手続き法（国民投票法）の問題点

[A] 取り上げ済み

タイムスタンプ：00:00:12～00:00:37

引用：「自衛隊の明記、緊急事態対応など4項目の改正案を示しており、改正の早期実現に全力で取り組んでいくとしています。」

評価：LDPの改憲推進姿勢は紹介されているが、4項目の具体的内容の説明はない。

[B] 部分的に取り上げ済み

タイムスタンプ：00:01:50～00:02:09

引用：「緊急事態条項や9条に関する改憲ありの拙速な議論に強い危機感を覚える。」

評価：CDPの慎重論は紹介されているが、JCP・れいわ・SDPの護憲論は実質的に欠落している（トランスクリプトの技術的エラーにより確認不能な部分あり）。

[C] 部分的に取り上げ済み

タイムスタンプ：00:02:31～00:02:47

引用：「国民主権、基本的人権の尊重、高級平和主義は将来とも堅持すべき普遍の理念だ。」

評価：公明党の三原則堅持の立場は紹介されているが、「加憲」論の詳細は不明。

[D] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：国民世論（世論調査）への言及は一切なく、改憲論議の民意的基盤が示されていない。

[E] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



評価：憲法学者・法律専門家の見解は一切引用されていない。

[F] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：市民社会・護憲運動・憲法記念日集会の声は完全に欠落している。

[G] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：国際比較の視点は一切提示されていない。

[H] 部分的に取り上げ済み

タイムスタンプ：00:01:58～00:02:09

引用：「権力の乱用を制約し、国民の権利を拡充する議論を進める必要があるとしています。」

評価：CDPが権力濫用リスクに言及しているが、緊急事態条項の具体的内容の説明はない。

[I] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：自衛隊明記の法的意味（現行解釈との差異、専守防衛との関係）の説明はない。

[J] 欠落

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：国民投票法の問題点（広告規制の不備等）への言及はない。

根拠：10の必要視点のうち、完全に取り上げられたものは[A]のみであり、[B][C][H]は部分的な取り上げにとどまる。
[D][E][F][G][I][J]の6視点は完全に欠落している。短報形式という制約を考慮しても、国民世論・専門家見解・市民社会の声が一切含まれていない点は、放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から著しく不十分である。

- ・ 憲法学者（例：木村草太、長谷部恭男）：改憲の合憲性・手続き論・緊急事態条項の権力濫用リスクについての専門的見解を提供できた。
- ・ 護憲市民団体代表：憲法記念日集会参加者の声として、草の根レベルの護憲論を提供できた。
- ・ 自衛隊OB・安全保障専門家：自衛隊明記の実質的意味と安全保障上の必要性について実務的見解を提供できた。
- ・ 世論調査専門家（例：NHK文研・各社調査担当）：改憲賛否に関する最新の国民世論データを提供できた。
- ・ 国際法学者：第9条の国際的意義と他国の平和主義条項との比較を提供できた。
- ・ 野党（JCP・れいわ・SDP）代表者：護憲・即時改憲反対の立場からの直接的な声が欠落している。
- ・ 国民投票法の専門家：改憲手続きの問題点（広告規制・資金規制の不備）について見解を提供できた。

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

2/10

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：各政党（声明・談話の発表主体）

タイムスタンプ：00:00:12～00:02:47

発言：各党声明（上記参照）

位置づけ：本放送は各党の声明・談話を紹介する短報形式であり、独立した専門家・有識者は一切登場しない。

欠落している反論：憲法学者、安全保障専門家、世論調査専門家、市民社会代表者の見解が完全に欠落している。

情報源の深層チェック：

(a) 資金調達：各政党は党費・政党交付金・政治献金により運営されており、それぞれの政治的立場に基づく利益を有する。

(b) 委任：各政党は自党の政策立場を表明する主体であり、中立的評価の提供者ではない。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

D1 利益相反：-2 — 各政党は自党の改憲・護憲立場に直接的な政治的利益を有する

D2 個人的リスク：-1 — 声明発表は政党の公式行為であり個人的リスクは低い

D3 専門的能力：+1 — 政党は憲法改正の当事者として一定の専門知識を有するが、中立的専門家ではない

D4 見解の一貫性：+1 — 各党の立場は従来の党是と概ね一致している

D5 感情化対データ：0 — 声明は政治的表現であり、データと感情の混在

D6 情報源レベル：+1 — 一次情報（党声明）であるが、政治的文書

合計：0 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

(c) 専門能力: 各党声明は政治的立場の表明であり、中立的評価として枠組みすることは不適切である。ナレーターによる読み上げ形式は、政治的声明と客観的事実の境界を曖昧にするリスクがある。

欠落している専門家グループ：

- 憲法学者（改憲の合憲性・手続き論の専門家）
- 安全保障専門家（改憲の必要性・リスクの客観的評価者）
- 世論調査専門家（国民意識の客観的データ提供者）

まとめ（マトリクス結果）：

- 各政党声明：情報源信号機 黄色（スコア0） — 政治的利益相反あり、中立的専門家としての位置づけは不適切

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：各政党声明・談話

タイムスタンプ：00:00:12～00:02:47

発言：各党声明（上記参照）

(a) 資金調達と運営主体：各政党は党費・政党交付金・政治献金により運営。

(b) 構造的利益相反：各政党は自党の改憲・護憲立場に直接的な政治的利益を有する。

(c) 欠落している対立情報源：憲法学者・世論調査・市民社会・国際比較の視点が完全に欠落。

欠落している対立情報源：

- 憲法学者の見解（改憲の合憲性・手続き論）
- NHK文研・各社の世論調査データ（改憲賛否の国民意識）
- 護憲市民団体の声（憲法記念日集会等）

まとめ：本放送は各政党の声明のみを情報源とし、独立した専門家・世論データ・市民社会の声を一切含んでいない。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から重大な問題であり、情報源の多様性が著しく欠如している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間の配分。

推定発言時間（実質コンテンツ部分、約2分30秒）：

- LDP（自民党）：約25秒（約17%）— 改憲推進・早期実現
- 日本維新の会：約22秒（約15%）— 改憲推進・喫緊課題
- 国民民主党：約18秒（約12%）— 現実的改憲・積み上げ重視
- 中道改革連合（不明）：約22秒（約15%）— 立憲主義堅持・責任ある改憲論
- 立憲民主党：約19秒（約13%）— 拙速な改憲に反対
- 賛成党（不明）：約17秒（約11%）— 創憲の立場（推定）
- 公明党：約16秒（約11%）— 三原則堅持
- ナレーター：約11秒（約7%）

改憲推進側合計（LDP+Ishin+DPP）：約65秒（約43%）

護憲・慎重側合計（CDP+公明党）：約35秒（約23%）

立場不明（中道改革連合・賛成党）：約39秒（約26%）

まとめ：改憲推進側（LDP・Ishin・DPP）が合計で護憲・慎重側（CDP・公明党）の約1.9倍の時間を占めており、時間配分に一定の非対称性が認められる。ただし「中道改革連合」「賛成党」の立場が不明確なため、正確な評価には限界がある。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

7/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず示されていないものは何か？（ステップ0を参照）

省略1：

文脈：国民世論（改憲賛否の世論調査データ）の完全欠落

関連タイムスタンプ：放送全体

影響：改憲論議が「政党間の議論」として枠組みされ、国民の意思が不可視化される。憲法改正には国民投票が必要であるにもかかわらず、国民の声が一切示されていない。

省略2：

文脈：JCP・れいわ・SDPの護憲論の欠落

関連タイムスタンプ：00:01:50以降（トランスクリプトのループエラーにより確認不能）

影響：護憲側の論拠が立憲民主党の声明のみに代表され、より強硬な護憲論（自衛隊違憲論・日米安保廃棄論等）が不可視化される。改憲反対の多様性が示されない。

省略3：

文脈：憲法学者・法律専門家の見解の完全欠落

関連タイムスタンプ：放送全体

影響：改憲論議が政治的立場の対立として提示され、法的・学術的観点からの評価が示されない。視聴者は改憲の法的意味を理解する手がかりを得られない。

まとめ：本放送は各党声明の紹介に終始しており、国民世論・専門家見解・市民社会の声という三つの重要な視点が完全に欠落している。これは放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から重大な問題である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的・誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:00

引用：「日本国憲法は施行から79年を迎えました。」

欠落している文脈：施行79年という数値は事実として正確であるが、改憲論議の文脈で国民世論の数値（改憲賛否の世論調査結果）が一切示されていない。

影響：数値的根拠なしに改憲論議が提示されることで、改憲の必要性・緊急性に関する客観的評価が困難になる。

まとめ：本放送において積極的な数値操作は確認されないが、改憲論議に不可欠な世論調査データが完全に欠落している点は省略の問題として指摘できる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



6. 連座による信用失墜（連座制）

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的な集団・思想との関連付けによる信用失墜。

所見 1：

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

手法：本放送において、特定の人物・団体を否定的な集団と関連付けることによる信用失墜の手法は確認されない。

まとめ：本放送において連座による信用失墜の手法は確認されない。スコアは0。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：00:00:12（冒頭）

内容：「安全保障環境は戦後最も厳しく、社会はこれまでとは全く異なる局面にある。」（LDP声明）

タイミング効果：放送の冒頭にLDPの危機的フレームが置かれることで、以降の全ての党声明がこの危機的文脈の中で解釈される枠組みが設定される。護憲側の「平和主義の成果」というカウンターフレームは冒頭に置かれていない。

所見 2：

位置：00:00:40（冒頭直後）

内容：「9条の改正と緊急事態条項の創設は喫緊の課題だ。」（Ishin声明）

タイミング効果：LDPに続いてIshinの改憲推進論が配置されることで、改憲推進の論理が放送前半を支配する構造となっている。

所見 3：

位置：00:01:50（後半）

内容：「緊急事態条項や9条に関する改憲ありの拙速な議論に強い危機感を覚える。」（CDP声明）

タイミング効果：護憲・慎重論は放送後半に配置されており、改憲推進論が先行して提示された後の「反論」として位置づけられる構造になっている。

まとめ：改憲推進側（LDP・Ishin）が放送冒頭に配置され、護憲・慎重側（CDP）が後半に配置されるという構造的非対称性が認められる。この配置は改憲推進論を「主題」、護憲論を「反応」として枠組みする効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

0/10

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、同等の他の立場には示されない。

方法論的原則 (v2.2)：各評価の前に介入事象を記録すること。反応は、他の立場に対して類似の介入事象が類似の反応を生じさせなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：該当なし

介入事象：本放送はナレーターによる各党声明の読み上げ形式であり、感情的反応・憤慨の表明は確認されない。

反応：なし

比較：評価対象外

非対称性：確認不能 — 本放送形式において選択的憤慨は評価対象外。

まとめ：本放送において選択的憤慨は確認されない。スコアは0。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組みの設定)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように基本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:12

引用：「安全保障環境は戦後最も厳しく、社会はこれまでとは全く異なる局面にある。」

操作：LDPの声明をナレーターが読み上げる形式で、「戦後最も厳しい安全保障環境」という危機的フレームが放送冒頭に提示されている。

問題点：この危機的フレームはLDPの政治的立場を反映したものであるが、ナレーターによる読み上げという形式により、客観的事実として受け取られる可能性がある。護憲派が提示する「平和主義の成果」というカウンターフレームは冒頭に置かれていない。

所見 2：

タイムスタンプ：00:00:40～00:00:55

引用：「憲法は時代の大きな変化に十分に対応できているとは言い難い状況にあり、連立合意にも記載した9条の改正と緊急事態条項の創設は喫緊の課題だ。」

操作：Ishinの声明において「喫緊の課題」という緊迫性を強調する表現が使用されており、改憲を「必要不可欠な対応」として枠組みしている。

問題点：「喫緊の課題」という表現は政治的判断を含むが、ナレーターによる読み上げ形式では批判的距離が示されていない。

所見 3：

タイムスタンプ：00:01:50～00:02:09

引用：「緊急事態条項や9条に関する改憲ありの拙速な議論に強い危機感を覚える。」

操作：CDPの声明は「危機感」という感情的表現を用いており、護憲側の立場が「感情的反応」として枠組みされる可能性がある。一方、改憲推進側の声明は「課題」「取り組み」という行動的・建設的な表現で紹介されている。

問題点：改憲推進側が「行動する主体」、護憲側が「反応する主体」として非対称に枠組みされている。

まとめ：放送全体のフレームは「安全保障環境の変化への対応としての改憲論議」という改憲推進側の論理構造に沿っており、護憲・平和主義の積極的価値を独立した枠組みとして提示していない。ただし短報形式という制約を考慮し、スコアは中程度とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:17

引用：「社会はこれまでとは全く異なる局面にある。」

操作：「全く異なる局面」という表現はLDPの声明の引用であるが、現状の危機性を強調する価値判断を含む。

問題点：中立的な代替表現は「安全保障環境に変化が生じている」であり、「全く異なる」という絶対的表現は改憲の必要性を前提とする含意を持つ。

所見 2：

タイムスタンプ：00:02:12

引用：「賛成党は、憲法を一から作り直す総権の立場を取っている。」

操作：「賛成党」という政党名はトランスクリプト上の誤認識と思われるが、「総権」という用語も不明確である。「創憲」（憲法を一から作り直す立場）を指す可能性があるが、用語の不正確さが情報の信頼性を損なっている。

問題点：放送上の用語が不正確であれば、視聴者の理解を歪める可能性がある。

所見 3：

タイムスタンプ：00:02:31

引用：「高級平和主義は将来とも堅持すべき普遍の理念だ。」

操作：「高級平和主義」はトランスクリプト上の誤認識と思われ、正確には「恒久平和主義」と推定される。

問題点：用語の誤認識が繰り返されており、放送内容の正確な把握を困難にしている。

まとめ：言葉の選択における問題は主にトランスクリプトの技術的エラーに起因する部分が大きく、放送自体の意図的な言語操作として断定するには証拠が不十分である。ただし改憲推進側の表現が行動的・積極的であるのに対し、護憲側の表現が反応的・感情的に紹介されている非対称性は指摘できる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問・割り込み・共感表明における非対称性。

方法論的原則（v2.2）：各評価の前に介入事象を記録すること。介入は、他のゲストに対して類似の介入事象が類似の介入を生じさせなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：放送全体

介入事象：本放送はナレーターによる各党声明の読み上げ形式であり、司会者・インタビュアーは存在しない。

引用（司会者）：該当なし

比較：司会者が存在しないため、司会者行動の非対称性は評価不能。

非対称性：確認不能 — 本放送形式において司会者行動の分析は適用外。

まとめ：本放送はナレーターによる短報形式であり、司会者・インタビュアーが存在しないため、司会者行動の非対称性は評価対象外である。スコアは形式的に1とするが、これは問題の欠如ではなく評価不能を反映する。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

13. 質問の非対称性

0/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の厳しさ・柔らかさの違い。

非対称性 1 :

本放送はナレーターによる各党声明の読み上げ形式であり、インタビュー・質疑応答は存在しない。したがって質問の非対称性は評価対象外である。

まとめ：本放送形式において質問の非対称性は評価不能であり、スコアは0とする。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (偽りの均衡)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出すこと。

所見 1：

タイムスタンプ：00:00:12～00:02:47

構造：「各党が声明を発表した」という形式的均衡の提示

分析：本放送は複数政党の声明を並列的に紹介することで形式的な均衡を演出しているが、実際には改憲推進側（LDP・Ishin・DPP）が時間・配置の両面で優位にある。また「中道改革連合」「賛成党」という不明確な主体が含まれており、実際の政治的勢力図が正確に反映されていない可能性がある。さらに、JCP・れいわ・SDPという明確な護憲政党の声明が（トランスクリプトの技術的エラーにより）欠落している可能性があり、形式的均衡が実質的不均衡を隠蔽している。

まとめ：「各党声明の紹介」という形式的均衡の演出が、実際の政治的勢力図・時間配分・配置順序における非対称性を隠蔽している可能性がある。ただし技術的エラーの影響が大きく、意図的な偽りの均衡として断定するには証拠が不十分である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：「安全保障環境の変化への対応としての改憲論議」が自明の前提として設定されている。

タイムスタンプ：00:00:12

根拠：「安全保障環境は戦後最も厳しく」というLDPの表現がナレーターによって読み上げられ、批判的距離なしに提示されている。

代替アジェンダ：「憲法施行79年の成果としての平和主義の評価」「改憲の必要性に関する国民的議論の現状」「改憲手続きの民主的正当性」

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：改憲論議は「政党間の議論」として枠組みされ、国民・市民社会の参加は不可視化されている。

タイムスタンプ：放送全体

根拠：全ての声明が政党からのものであり、国民・市民社会の声は一切含まれていない。

代替アジェンダ：「国民投票を前提とした市民的議論の必要性」「憲法記念日集会における市民の声」

まとめ：本放送は改憲論議を「政党間の政策議論」として枠組みし、国民・市民社会の参加という民主的次元を不可視化している。また「安全保障環境の変化」を自明の前提として設定することで、改憲の必要性を問い直す視点がアジェンダから排除されている。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	4	改憲推進側の危機的フレームが冒頭に置かれ、護憲側の積極的価値が独立した枠組みとして提示されていない
2	言葉の選択	3	改憲推進側の表現が行動的・積極的であるのに対し、護憲側の表現が反応的・感情的に紹介されている
3	専門家の選定	2	独立した専門家・有識者が一切登場せず、各政党声明のみが情報源となっている
4	省略	7	国民世論・専門家見解・市民社会の声・護憲政党 (JCP・れいわ・SDP) の声が完全に欠落している

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5	司会者の行動	1	ナレーター形式のため評価対象外（スコアは評価不能を反映）
6	時間配分	4	改憲推進側が護憲・慎重側の約1.9倍の時間を占めている
7	質問の非対称性	0	インタビュー形式でないため評価対象外
8	連座による信用失墜	0	該当する手法は確認されない
9	数値操作	1	積極的な数値操作はないが、世論調査データの完全欠落が問題
10	タイミング	4	改憲推進側が冒頭に、護憲・慎重側が後半に配置される構造的な非対称性がある
11	映像選択	0	トランスクリプトから評価不能
12	情報源の選定	5	各政党声明のみを情報源とし、独立した専門家・世論データが完全に欠落している
13	選択的憤慨	0	ナレーター形式のため評価対象外
14	偽りの均衡	3	形式的均衡の演出が実際の時間・配置の非対称性を隠蔽している可能性がある
15	アジェンダ設定	5	改憲論議を「政党間の議論」として枠組みし、国民・市民社会の参加を不可視化している

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：2.6 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：2.7 / 10（基準70%＋完全性30%）

計算：

- 15基準合計：4+3+2+7+1+4+0+0+1+4+0+5+0+3+5 = 39
- 平均：39÷15 = 2.6
- 複合：2.6×0.7 + 3.0×0.3 = 1.82 + 0.90 = 2.72 ≈ 2.7

支配的な手法

本放送における最も強力な3つの手法：

1. 省略（スコア7）：国民世論・専門家見解・市民社会の声・護憲政党（JCP・れいわ・SDP）の声が完全に欠落しており、改憲論議が政党間の議論として矮小化されている。放送法第4条が求める多角的論点提示の観点から最も重大な問題である。
2. 情報源の選定（スコア5）：各政党声明のみを情報源とし、独立した専門家・世論データ・市民社会の声を一切含まない情報源構造は、改憲論議の複雑性を政治的対立の図式に還元している。
3. アジェンダ設定（スコア5）：「安全保障環境の変化への対応としての改憲論議」を自明の前提として設定し、改憲の必要性を問い直す視点や国民・市民社会の参加という民主的次元をアジェンダから排除している。

放送の核心的メッセージ

メッセージ1（内容的）：「安全保障環境の変化により、憲法改正は政党間で議論されるべき政策課題である。」

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

手法：フレーミング・アジェンダ設定 — 根拠：00:00:12、00:00:40

メッセージ2（構造的）：「改憲論議は推進側と慎重側の対立として整理できる。」

手法：偽りの均衡・省略 — 根拠：放送全体の構造

メッセージ3（社会的）：「憲法改正は政党が主導する問題であり、国民・市民社会は受動的な存在である。」

手法：情報源の選定・省略 — 根拠：放送全体（国民の声の完全欠落）

操作度の分類

- 軽度の傾向（3～4）

根拠：本放送の複合スコアは2.7であり、「均衡ある報道（0～2）」と「軽度の傾向（3～4）」の境界付近に位置する。積極的な操作手法（連座による信用失墜・数値操作・選択的憤慨等）は確認されないが、省略・情報源の選定・アジェンダ設定において構造的な問題が認められる。特に、国民世論・専門家見解・市民社会の声の完全欠落は、放送法第4条第2号（政治的公平）および第4号（多角的論点の提示）の観点から問題がある。ただし本放送は約2分30秒の短報形式であり、全ての視点を網羅することには物理的制約があることも考慮する必要がある。

結論

本放送は憲法記念日における各党声明の短報として、複数政党の立場を並列的に紹介する形式を採用しており、積極的な操作手法は確認されない。しかし、改憲推進側（LDP・Ishin）が放送冒頭に配置され、護憲・慎重側が後半に配置される構造的非対称性、および国民世論・専門家見解・市民社会の声の完全欠落は、放送法第4条第4号が求める「多角的論点の提示」の観点から問題がある。また、JCP・れいわ・SDPという明確な護憲政党の声明がトランスクリプト上で確認できない点は、放送法第4条第2号（政治的公平）の観点からも検討を要する。短報形式という制約を考慮しても、憲法改正という重大な政治的テーマを扱う放送として、国民の意思を示す世論データや独立した専門家の見解を含めることが放送法の趣旨に沿った対応であったと判断される。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別評価

政党	スコア（-5～+5）	放送上の描写对党綱領上の立場
自民党 （LDP）	+2	00:00:12「自衛隊の明記、緊急事態対応など4項目の改正案を示しており、改正の早期実現に全力で取り組んでいくとしています。」— 党綱領：改憲推進・自衛隊明記・緊急事態条項 — 概ね正確だが4項目の具体的内容の説明が欠落
立憲民主党 （CDP）	+2	00:01:58「権力の乱用を制約し、国民の権利を拡充する議論を進める必要があるとしています。」— 党綱領：拙速な改憲反対・立憲主義堅持 — 概ね正確
公明党 （Komeito）	+1	00:02:31「国民主権、基本的人権の尊重、高級平和主義は将来とも堅持すべき普遍の理念だ。」— 党綱領：三原則堅持・慎重な改憲論 — 「高級平和主義」はトランスクリプトの誤認識（正：恒久平和主義）、内容は概ね正確
日本維新の会 （Ishin）	+2	00:00:48「9条の改正と緊急事態条項の創設は喫緊の課題だ。」— 党綱領：改憲推進・第9条改正・緊急事態条項 — 正確

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



日本共産党 (JCP)	0	該当なし — 党綱領：第9条改正に断固反対・護憲 — トランスクリプトの技術的エラーにより確認不能。放送に含まれていない可能性が高い
国民民主党 (DPP)	+2	00:01:05 「憲法審査会で議論の積み上げがあるテーマに絞って、具体的な条文作りに取り組むことが現実的だ。」 — 党綱領：現実的改憲・審査会重視 — 正確

注記：れいわ新選組・社民党についてはトランスクリプト上で確認できず、スコアは0（放送に含まれていない）とする。「中道改革連合」「賛成党」は実在政党との対応関係が不明確なため評価対象外。

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：日本維新の会（スコア+2）、国民民主党（スコア+2）
- 最も強い歪曲：日本共産党（スコア0） — 放送に含まれていない可能性が高く、護憲の最も強硬な立場が不可視化されている
- 平均偏差（0からの）：1.5
- 結論：放送に登場した政党については概ね正確な描写がなされているが、JCP・れいわ・SDPという護憲政党が欠落している可能性が高く、改憲反対側の多様性が示されていない。これは政治的公平の観点から問題がある。

左右スペクトル上の全体的傾向

傾向スコア：-0.8

（正の値＝左派優遇、負の値＝右派優遇、0.0＝均衡）

分類：右派優遇（軽度）

根拠：改憲推進側（LDP・Ishin、左右スコア7.0）が放送冒頭に配置され、時間配分でも優位にある。護憲の最も強硬な立場（JCP・れいわ・SDP）が欠落している可能性が高く、改憲反対側の論拠が立憲民主党の慎重論のみに代表されている。ただし傾向は軽度であり、積極的な右派優遇の意図を示す証拠は限定的である。

ステップ4 — 法的評価（放送法第4条）

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平（第2号）、報道の正確性（第3号）、および多角的な論点の提示（第4号）を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第4号（多角的論点の提示）

事実：国民世論・憲法学者・市民社会・護憲政党（JCP・れいわ・SDP）の声が完全に欠落しており、改憲論議が政党間の政策議論として矮小化されている。

根拠：タイムスタンプ00:00:00～00:02:47（放送全体） — 独立した専門家・世論データへの言及なし

評価：憲法改正という重大な政治的テーマを扱う放送において、多角的論点の提示が著しく不十分であり、放送法第4条第4号の趣旨に反する可能性がある。

違反2：

規範：放送法第4条第2号（政治的公平）

事実：改憲推進側（LDP・Ishin）が放送冒頭に配置され、護憲の最も強硬な立場（JCP・れいわ・SDP）が欠落している可能性が高い。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

根拠：タイムスタンプ00:00:12（LDP冒頭配置）、JCP・れいわ・SDPの声明の欠落

評価：護憲政党の声明が欠落している場合、政治的公平の観点から放送法第4条第2号に抵触する可能性がある。ただしトランスクリプトの技術的エラーの影響を排除できないため、断定的な評価には限界がある。

違反3：

規範：放送法第4条第3号（報道の正確性）

事実：「高級平和主義」（正：恒久平和主義）、「賛成党」（实在政党名不明）、「総権」（正：創憲の可能性）等、複数の用語の誤認識がトランスクリプト上で確認される。

根拠：タイムスタンプ00:02:12、00:02:31

評価：これらはトランスクリプト生成上の技術的エラーである可能性が高く、放送自体の不正確性として断定するには追加確認が必要である。

放送法第4条総合評価

本放送は約2分30秒の短報形式であり、積極的な政治的操作の意図を示す証拠は限定的である。しかし、憲法改正という重大な政治的テーマを扱う放送として、国民世論・専門家見解・市民社会の声を一切含まない情報源構造は、放送法第4条第4号が求める多角的論点提示の趣旨に反する可能性がある。また、護憲政党（JCP・れいわ・SDP）の声明が欠落している可能性は、放送法第4条第2号（政治的公平）の観点から問題がある。NHKは放送法第4条の義務を負う公共放送として、短報形式においても多角的論点の提示に努める義務があり、本放送はその観点から改善の余地がある。ただし、トランスクリプトの技術的エラーが分析の精度に影響を与えており、放送原本の確認なしに確定的な法的判断を下すことには慎重を要する。

情報源の深層チェック（引用された全専門機関・NGO・相談機関に対する義務的チェック）

本放送において引用された情報源：各政党声明・談話

1. 資金調達：各政党は党費・政党交付金（国庫補助）・政治献金により運営。政党交付金は国民の税金から支出されており、各政党は公的資金の受益者である。
2. 委任：各政党の委任は自党の政策立場の表明・実現であり、中立的評価の提供とは本質的に相容れない。
3. 利益相反：各政党は自党の改憲・護憲立場の実現に直接的な政治的利益を有する。改憲推進政党は改憲の必要性を強調することで支持基盤を固め、護憲政党は改憲反対を訴えることで支持基盤を維持する構造的利益相反がある。
4. 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：
 - D1 利益相反：-2 — 各政党は自党立場に直接的政治的利益
 - D2 個人的リスク：-1 — 公式声明であり個人的リスクは低い
 - D3 専門的能力：+1 — 憲法改正の当事者として一定の知識を有するが中立的専門家ではない
 - D4 見解の一貫性：+1 — 従来の党是と概ね一致
 - D5 感情化対データ：0 — 政治的表現（データと感情の混在）
 - D6 情報源レベル：+1 — 一次情報（党声明）だが政治的文書

合計：0 → 情報源信号機：黄色（-4～+4）

5. 欠落している対立情報源：憲法学者（木村草太・長谷部恭男等）の見解、NHK文研・各社世論調査データ、護憲市民団体の声、国際法学者の見解が欠落している。

重要：「各党が声明を発表した」という事実は、各党声明が中立的・客観的情報であることを意味しない。各党声明は政治的立場の表明であり、独立した専門家の評価・国民世論のデータと同等に扱うことは不適切である。本放送がこれらを区別せずに提示している点は、情報源の透明性の観点から問題がある。

分析終了 — NHK放送法第4条準拠分析レポート v2.7-detail

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

分析対象：憲法記念日特集（2025年5月3日推定）

注記：トランスクリプトの技術的エラー（00:01:50以降のループ）により、放送後半の内容確認に限界がある。
放送原本との照合が推奨される。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	2/10	問題なし
2	情報源の選定	5/10	顕著な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	7/10	著しい偏り
5	数値操作	1/10	問題なし
6	連座による信用失墜（連座制）	0/10	問題なし
7	タイミング	4/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	0/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組みの設定）	4/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	1/10	問題なし
13	質問の非対称性	0/10	問題なし
14	偽りの均衡（偽りの均衡）	3/10	軽微な偏り
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り

ハードファクトスコア (1-8)

3.3/10

軽微な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

2.7/10

軽微な不均衡

総合スコア

3.0/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事實認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1